

学校教育目標『高くかかげよ』～夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う子どもの育成～

# 日比中だより



TEL (0848) 22-6513 FAX (0848) 22-2002 第8号

URL <http://www.onomichi.ed.jp/hibizaki-j/> 令和5年10月30日(月)

メールアドレス hibizaki-j@onomichi.ed.jp

尾道市立日比崎中学校

## 日比崎中学校授業公開を開催しました

日比崎中学校授業公開を10月4日【水】に開催しました。今年度は国語部会、社会部会、日比崎小学校や市内教頭先生等多くの先生方が参加されました。

今年度の研究主題は「カリキュラム・マネジメントを活かした主体的な学びの創造」と題して「プロジェクト学習の充実と指導と評価の一体化を活かした課題発見・解決学習の単元開発」として研究してきました。日比崎中学校では、「赤船祭」と「日比崎サバイバルプロジェクト」【サバプロ】を中心にして、各行事・各教科・地域社会・道徳学活・生徒指導等の様々な教科領域が絡み合い、生徒主体の学びの実現を目標としています。

公開授業では、指導と評価の一体化、本質的な問い・単元を貫く問いによる授業改善、生徒に対して授業や単元の初めに評価規準を示すことや単元の型の選択等を意識した授業を展開してきました。参観された多くの先生方からも多くの貴重なご意見を頂きました。

また広島大学大学院人間社会科学研究科より、永田忠道准教授をお招きし、「カリキュラム・マネジメントを活かした主体的な学びの創造」～学習者の学習者による学習者のための学びにむけて～と題して講演を頂きました。講演を通して、全ての学習者がそれぞれのゴールに向かって学びを続けていける、誰一人として取り残さない学びを実現していくこと、その為教師自身がファシリテーターとして意識を変えていくことの大切さを学習できました。

### ～公開授業の様子～



1-1音楽



1-2家庭科



1-3保健体育



2-1英語



2-2国語



3-1理科



3-2数学

3-3社会



## ～協議会での様子～

授業後に行われた協議会の様子です。3つの協議会（協議会1 国英・協議会2 社数理・協議会3 音体家）に分かれ、それぞれの協議会会場で研究協議を行いました。協議の視点を課題設定（問いや単元の型）と評価（ルーブリックの活用）の2点し、意見交流や協議を行いました。授業改善に向け、有意義な話し合いをすることができました。



協議会1 国英での様子



協議会2 社数理での様子



協議会3 音体家の様子

## ～参加されたの先生方の感想より【一部抜粋】～

・指示の出し方，帯活動（ペア），導入（ICTの効果的な活用），生徒の発話レベルを上げる声かけ等，安定感があり素晴らしかったです。今回は単元の2時間目でしたので，終末の動画がどのような活動になるのか興味を持ちました。 2-1英語科の授業より

・カリマネに沿った教材研究をされており，自分の生活を振り返り，好奇心を持って課題に取り組んでいる様子が見られました。場面設定を明確にし，常時掲示しておく。生徒の食品標示の意見を全校で確認し，配布プリントのどこにあるのか確認させ，食品を選ぶ上での根拠を考えさせると学びが深まるのではないかと思います。 1-2家庭科の授業より

・私自身も古典が苦手なのですが，現代の言葉で表現することによって，より理解が深まりました。子どもが考えた意見が面白かったので，もっと聞いてみたかったです。小学校での学習内容は身近な生活に関するものが多くて分かりやすいのですが，古文等難しい内容でも身近なものに例えて興味関心を持たせる方法があるんだなと気づかせて頂きました。ありがとうございました。 2-2国語科の授業より

・単元全体の中に日常へ戻れる例があると，よりエネルギーのことが考えられるのではと思いました。ジェットコースターと位置・運動エネルギーの関わり大変勉強になりました。ありがとうございました。 3-1理科の授業より

・永田先生の講話そのものがこれからの授業の在り方であったように感じる。一方的な講話を聴くだけでなく，意見を求められそれを繰り返すことにより，参加者も深い学びになる。また，主体的な学びとして生徒に委ねる部分が大きくなればなるほど単元構成や題材に力を注がなければならないと改めて感じました。 全体会より

## 「第18回尾道灯りまつり」開催される

「第18回尾道灯りまつり」が10月7日【土】に行われました。今年は各学年でテーマを決めたものをぼんぼりに表現しました。1年生は「夏の思い出」、2年生は「My Dream」、3年生は「ふるさと尾道」というテーマで各自2個ずつ制作しました。個性豊かなぼんぼりが済法寺の境内へと続く参道に奉納されて、17時30分に点火が始まりました。504個のぼんぼりが薄暮の中、美しく灯り、輝いていました。



2年生～1年生の作品



3年生～2年生の作品



3年生の作品

## 尾道市中学校駅伝競走大会がありました

第70回尾道市中学校駅伝大会が予定通り、10月14日【土】にこぎかなくんスポーツパーク（びんご運動公園）の陸上競技場と公園内のコースにおいて開催されました。9月に入ったばかりの頃に駅伝部員の募集を開始し、9月28日（木）に大会に向けてのミーティングを行い駅伝練習がスタートしました。10月6日（金）には現地で試走を行い、中間テスト期間中も帰りのホームルームが終了すると30分間汗を流しました。結果は男子が22チーム中4位（㊦区間賞受賞：第5区第3位今本悠太・第6区第2位桃谷啓汰）、女子は22チーム中10位の好成績でした。男女両チームとも最後まで諦めず前を追って全力で駆け抜けていく姿や仲間を一生懸命応援する一体感が感じられました。男子チームは、見事来月東広島市において11月19日【日】に開催される第84回中国中学校駅伝競走大会へ尾道地区代表（男女各上位4チームが代表）として出場することになりました。おめでとうございます！

～大会当日の様子～



女子1区スタート



男子1区スタート



レース後

## 尾道市小中学校芸術祭中学校音楽コンクールがありました

10月18日【水】にしなみ交流館にて第19回尾道市小中学校芸術祭中学校音楽コンクールが行われました。第1組から第4組までの17校での参加となりました。日比崎中学校は第4組(百島中・日比崎中・重井中・因島南中)の4校の内2番目の出番でした。

バランスのとれた素晴らしいハーモニーで歌声を会場内に響き渡らせ、聴衆に一体感を感じさせる最高のパフォーマンスを披露してくれました。審査結果としては僅差で入賞は逃しましたが、どの学校が受賞しても不思議ではないほどのクオリティーが高い内容だった様です。この積み上げを是非とも今後の赤船祭(文化発表の部)や卒業証書授与式の成功に繋げ、新たな日比中の伝統を築き上げて欲しいと思います。

### ～コンクール当日の様子～



### ～生徒の振り返り〔一部抜粋〕より～

・正直歌を歌って涙が出そうになったのは初めてでした。結果としては、賞を取ることは出来ませんでした。今までの2週間で皆が本気で取り組んでいて、どんどん合唱のレベルが上がっていくのを直接感じ、達成感を感じる事が出来ました。次は赤船祭があるので、1、2年生を感動させられるようにレベルアップしたいです。

・今までで1番の合唱が出来たと思います。全員が息を吸うタイミングが揃って、同じ時に体が動いていたり、初めやのばす音が揃っていたり、この仲間達だったから得ることが出来た一体感だったと思います。この仲間と一緒に歌える機会も少ないので、1回1回を大切に歌っていきたいと思います。

・この合唱を通じて、1つの目標を達成する為に1つにまとまり、互いに刺激し合いながら練習をして、さらに3年生としてのまとまりの力が強くなったと感じる。また、他校の合唱を聞き、その歌声から一生懸命のかけこ良さやその学校のまとまり、強みのようなものを感じることが出来てとても心に残っています。

・ステージの1番前で歌っていてとても緊張したけれど、後ろからの大きくて美しい歌声が聞こえてきて、皆との絆や他にも色々なもの繋がっているように思えて、歌う支えになりました。体育館とは違い、ホールに歌声が響き渡っていて、100人とちょっとが1つになり、まるで1人で歌っているかのようにハモっていて一体感を感じる事が出来ました。

・本番が一番良い合唱になったと思いました。歌い始めると一人一人が声を出し、客席に声を届けようという気持ちが溢れ、全員が自信を持って歌うことができたと思いました。どちらの曲も最高の演奏を全員でつくることができ、一体感と達成感を感じました。全員で一つのものをつくる楽しさを改めて感じました。次は赤船祭があるので、そこでも昨日以上の合唱にして、残り少ない全員での合唱の機会を大切にしていきたいと思いました。

・最初は皆が声を出すから、自分はそんなに出さなくてもいいかと思っていたけれど、自分の殻を破って一生懸命歌うことが出来るようになりました。今までの練習の成果を発揮することができて達成感、一体感を感じる事が出来ました。結果は何の賞も得られなかったけれど、まだ赤船祭があるのでそこで今回を超える合唱をしていきたいです。